



2016年2月3日

各 位

会 社 名	キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 穂川 稔 (コード番号 4569 東証第1部)
問 合 せ 先	社長室 コーポレートコミュニケーション部長 宮木 修次
電 話	03-3525-4707

COPD 治療剤「KRP-AB1102F」に関する ライセンスの解消について

キョーリン製薬ホールディングス株式会社の子会社である杏林製薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮下三朝、以下「杏林製薬」）は、AstraZeneca UK Limited（本社：英国ロンドン「以下、AstraZeneca 社」）との COPD^{※1} 治療剤「KRP-AB1102F」に関するライセンス契約について、この度、解約することを決定しました。

（注）KRP-AB1102F（有効成分：アクリジニウム臭化物^{※2}とホルモテロールフマル酸塩^{※3}の配合剤「以下、配合剤」）

杏林製薬と Almirall, S. A.（本社：スペインバルセロナ「以下、Almirall 社」）は、2011年2月にアクリジニウム臭化物について（単剤及び配合剤）、日本国内における開発権及び販売権に関するライセンス契約を締結し、その後、2014年11月に AstraZeneca 社は Almirall 社より呼吸器領域の事業を買収しました。

これまで杏林製薬は、配合剤について日本国内で開発を進めて参りましたが、この度、両社で開発の進め方について協議し、その開発権及び販売権を AstraZeneca 社に返還することに致しました。

2015年5月に新発売した COPD 治療剤「エクリラ® ジェヌエア®」（単剤）につきましては、引きつづき杏林製薬が販売いたします。

本件における当社の2016年3月期連結業績予想に変更はありません。

以上

※1 COPD：慢性閉塞性肺疾患

※2 アクリジニウム臭化物：長時間作用型ムスカリン M3 拮抗剤

※3 ホルモテロールフマル酸塩：長時間作用性 β_2 刺激薬